

受益者の皆様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「デジタルヘルス株式ファンド」は、2023年4月11日に第2期決算を行いました。

当ファンドは、ルクセンブルク籍投資法人「CS・インベストメント・ファンズ 2」のサブファンドである「クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンド」が発行する外国投資証券への投資を通じて、世界各国(日本を含む)のデジタルヘルス企業の株式等に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められています。運用報告書(全体版)については下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記URL⇒ファンド情報⇒当ファンド名を選択⇒各種資料のダウンロード⇒「運用報告書(全体版)」を選択

デジタルヘルス株式ファンド

商品分類(追加型投信/内外/株式)

第2期(決算日 2023年4月11日)

作成対象期間：2022年4月12日～2023年4月11日

第2期末(2023年4月11日)	
基準価額	6,481円
純資産総額	1,275百万円
第2期	
騰落率	△14.9%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。



T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

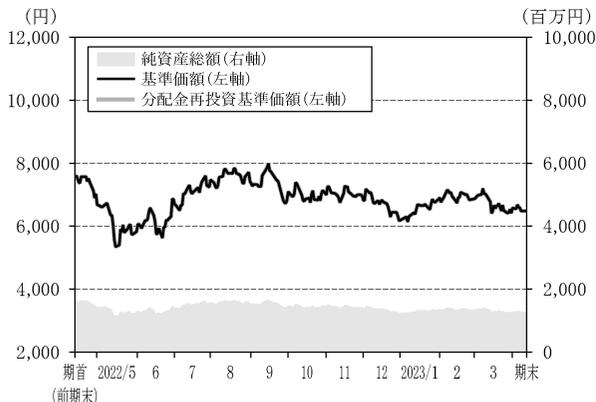
お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

<https://www.tdasstet.co.jp/>

基準価額等の推移



第2期首： 7,613円

第2期末： 6,481円(既払分配金0円)

騰落率： $\Delta 14.9\%$ (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年4月11日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

高位に組入れている「クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンドーEB JPYクラス」において、世界のデジタルヘルス企業の株式等に投資を行い、主に中小型のデジタルヘルス関連企業の株価が下落したことが基準価額下落の要因となりました。

■組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンドーEB JPYクラス	$\Delta 14.5\%$
マネーアカウントマザーファンド	$\Delta 0.1$

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2022/4/12～2023/4/11		
	金額	比率	
平均基準価額	6,806円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	81円 (22) (56) (2)	1.188% (0.330) (0.825) (0.033)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 (監査費用) (その他)	1 (1) (0)	0.016 (0.016) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託に係る手数料
合計	82	1.204	

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みません。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

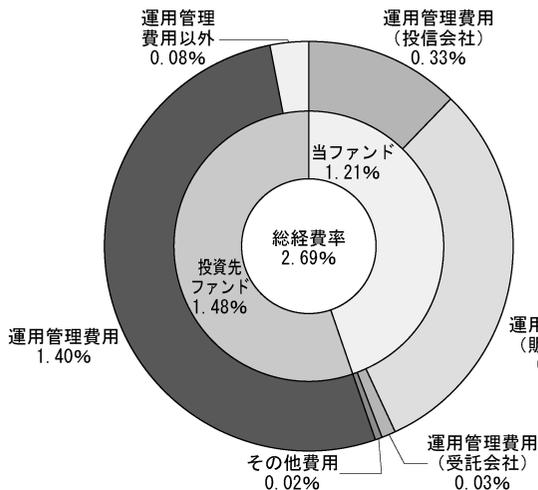
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、2.69%です。



総経費率 (①+②+③)	2.69%
①当ファンドの費用の比率	1.21%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.40%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.08%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

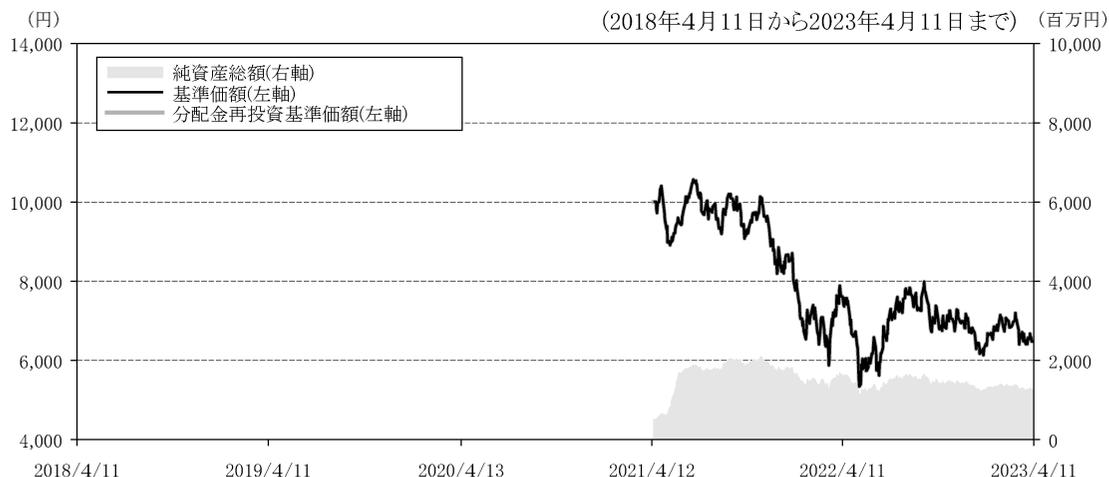
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、設定日(2021年4月16日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2021年4月16日 設定日	2022年4月11日 決算日	2023年4月11日 決算日
基準価額(分配落)	(円) 10,000	7,613	6,481
期間分配金合計(税込み)	(円) —	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%) —	△ 23.9	△ 14.9
MSCI オール・カンントリー・ワールド指数(円ベース、ネット・トータル・リターン)騰落率 (%)	—	15.2	△ 0.3
純資産総額	(百万円) 529	1,650	1,275

(注) MSCI オール・カンントリー・ワールド指数(円ベース、ネット・トータル・リターン)【出所：MSCI】は当ファンドの参考指数です。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

*MSCI オール・カンントリー・ワールド指数(円ベース、ネット・トータル・リターン)【出所：MSCI】

「MSCI オール・カンントリー・ワールド指数(円ベース、ネット・トータル・リターン)は、MSCI が発表している株価指数で、新興国を含む世界の主要国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その正確性及び完全性をMSCI は何ら保証するものではありません。その著作権はMSCI に帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

投資環境

■ 株式市況

当期末のグローバル株式市場は、前期末比ほぼ変わらずとなりました。期初から2022年6月半ばまでは、米国のインフレが市場予想を上回る速さで進んだこと、FRB(米連邦準備制度理事会)の利上げ幅拡大やECB(欧州中央銀行)の早期利上げの気運が高まったこと等を受け、株価は下落しました。6月後半以降は、世界的な金融引締め強化による景気後退懸念が強まりましたが、米国のインフレがピークに達したとの期待等から、株価は上昇しました。8月後半から10月半ばにかけては、FRB議長が金融引締めによるインフレ抑制を最優先する姿勢を改めて示したこと、欧州エネルギー危機への不安が高まったこと、米国の高インフレ長期化懸念が再燃したこと等から、株価は下落しました。10月後半以降は、欧米の利上げ長期化や世界的な金融システム不安等への警戒が高まる場面もありましたが、米国のインフレはピークアウトし、FRBの利上げ幅縮小とその後の利上げ停止期待等から、株価は上昇しました。

■ 国内短期金融市況

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の $\Delta 0.13\%$ から期末は $\Delta 0.30\%$ となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

当該投資信託のポートフォリオ

■ 当ファンド

「クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンドーEB JPYクラス」を概ね高位に組入れ、「マネーアカウントマザーファンド」にも投資を行いました。

■ クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンドーEB JPYクラス

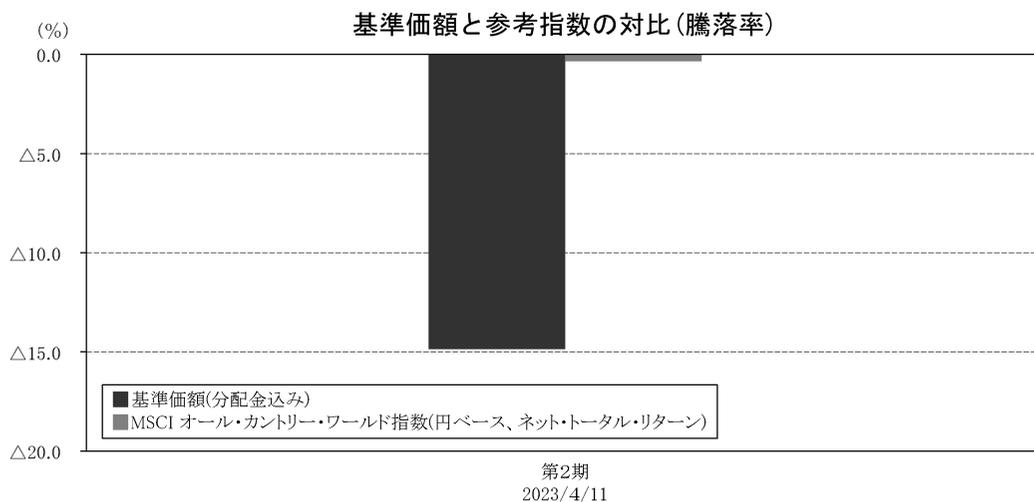
従来のヘルスケアのシステムを根本から変えるポテンシャルを持った、革新的なテクノロジーを持つデジタルヘルス企業に投資を行いました。銘柄選択にあたっては、ヘルスケアの課題を解決する革新的テクノロジーを持つピュア・プレイヤー(収益の50%以上をデジタルヘルス分野から上げる企業)を投資対象として、ボトムアップでのファンダメンタルズ分析に基づき、長期的な観点で確信度の高い銘柄へ選別的に投資しました。ポートフォリオの組入銘柄数は65銘柄程度としました。

■ マネーアカウントマザーファンド

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



分配金

1 万口当たりの分配金(税込み)は、分配対象収益がないため、見送らせていただきました。

(単位：円・%、1 万口当たり・税引前)

項目	当期
	2022年 4 月 12 日 ～2023年 4 月 11 日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	0

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

■ 当ファンド

「クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンドーEB JPYクラス」の組入比率を高位に保ち、「マネーアカウントマザーファンド」を組入れた運用を行う方針です。

■ クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンドーEB JPYクラス

デジタルヘルスの投資テーマは今後長期にわたって世界で注目され続ける分野であること、また、世界の医療システムに対するコスト圧力は依然として高まっており、そしてより良い改善が必要であり、新しいデジタル・テクノロジーの革新は進展半ばにあります。また、各国の規制当局と政府からは「医療でより多くのテクノロジーを導入する」という後押しが続くと考えています。当ファンドにおいては、ヘルスケアの課題を解決する革新的テクノロジーを持つピュア・プレイヤーに選別投資を行う方針です。

■ マネーアカウントマザーファンド

日本経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

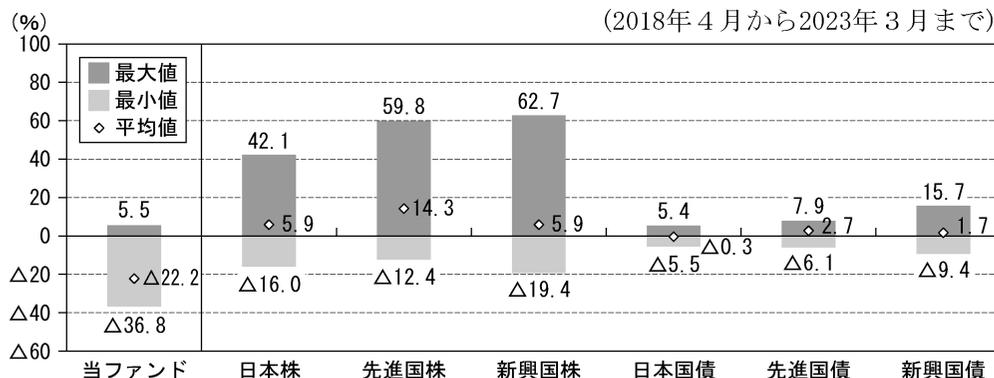
相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2021年4月16日から2026年4月13日まで	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要運用対象	ルクセンブルク籍投資法人「CS・インベストメント・ファンズ 2」のサブファンドである「クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンド」が発行する外国投資証券「EB JPYクラス」および国内の証券投資信託である「マネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象とします。	
	クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンドーEB JPYクラス	世界各国(日本を含む)のデジタルヘルス企業の株式等(世界各国の預託証券および株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証書等を含みます。)を主要投資対象とします。
	マネーアカウントマザーファンド	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 有価証券先物取引等の派生商品取引の指図は行いません。	
分配方針	毎決算時(4月11日、休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ただし、必ず分配を行うものではありません。	

【参考情報】

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注) 上記は、2018年4月から2023年3月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注) 当ファンドおよび代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 騰落率は直近月末から60ヵ月遡って算出した結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(注) 当ファンドは2021年4月16日に設定されたため、2022年4月以降のデータをもとに表示しております。

○各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)^{※1}

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)^{※2}

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)^{※3}

日本国債・・・NOMURA-BPI国債^{※4}

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)^{※5}

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド(円ベース)^{※6}

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

※1 東証株価指数(TOPIX)とは、株式会社JPX総研が算出する株価指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研に帰属します。

※2 MSCIコクサイ・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

※3 MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

※4 NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスを用いて行われるT&Dアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

※5 FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

※6 JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドは、JPモルガン社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJPモルガン社に帰属します。

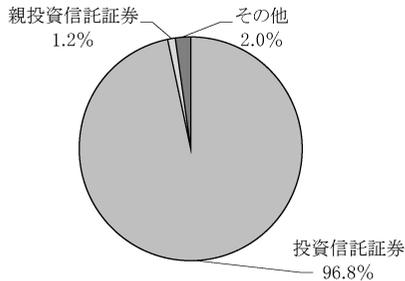
当該投資信託のデータ

当該ファンドの組入資産の内容

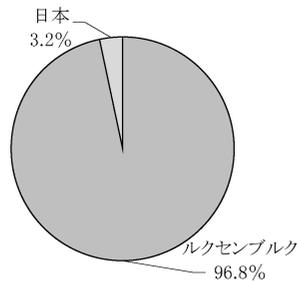
■ 組入(上位)ファンド(銘柄)

銘柄名	当期末
	2023年4月11日
	比率
クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンドーEB JPYクラス	96.8%
マネーアカウントマザーファンド	1.2
その他	2.0

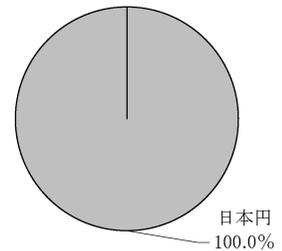
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 組入(上位)ファンド(銘柄)および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)をご覧ください。

純資産等

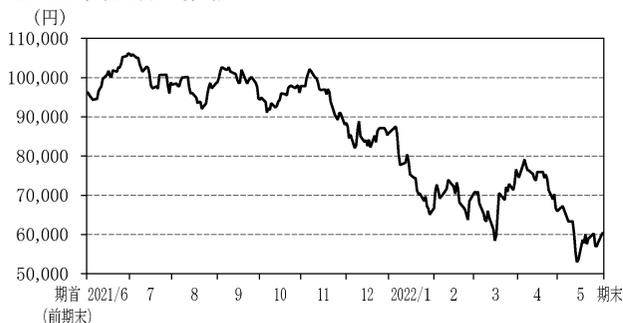
項目	当期末
	2023年4月11日
純資産総額	1,275,266,360円
受益権総口数	1,967,831,792口
1万口当たり基準価額	6,481円

(注) 期中における追加設定元本額は141,894,690円、同解約元本額は341,735,532円です。

組入上位ファンドの概要

クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンド-EB JPYクラス (2021年6月1日から2022年5月31日まで)

■ 基準価額の推移



■ 1口当たりの費用明細

1口当たりの費用明細に相当する情報がな
いため、開示することができません。

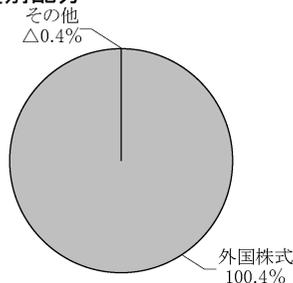
以下は、「クレディ・スイス(ルクセンブルク)デジタル・ヘルス・エクイティ・ファンド」の状況です。

■ 組入銘柄(株式)(上位10銘柄)

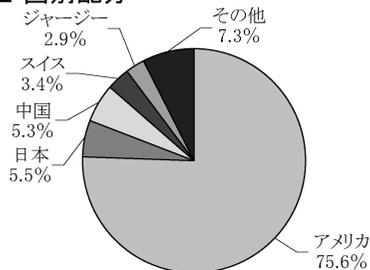
(組入銘柄数:69銘柄)

銘柄名	通貨	比率
VEEVA SYSTEMS A	USD	3.8%
IRHYTHM TECHNOLOGIES INC	USD	3.7
M3	JPY	3.4
AXONICS MODULATION TECHNOLOGIE	USD	3.3
SHOCKWAVE MEDICAL INC	USD	3.3
DEXCOM	USD	3.2
ZAI LAB LTD ADR	USD	3.2
OMNICELL	USD	3.1
ALIGN TECHNOLOGY	USD	3.1
NOVOCURE LTD	USD	2.9

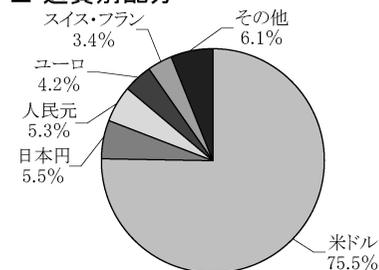
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



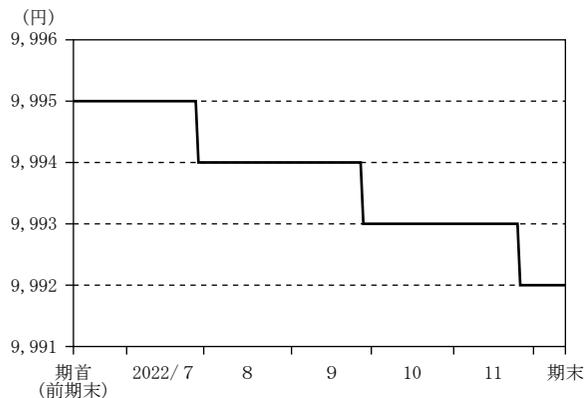
(注) 組入銘柄および各配分のデータは直近の決算日現在のものです。日付は現地基準日です。

(注) 組入銘柄および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 組入銘柄および各配分はクレディ・スイス・アセット・マネジメント(スイス)エイジーより入手したデータをもとに作成したものです。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

■ 基準価額の推移



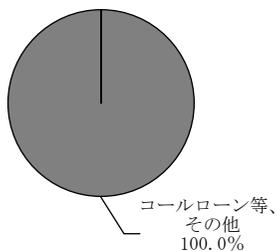
■ 組入銘柄

当期末における組入れはありません。

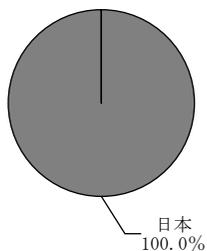
■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	2022/6/11~2022/12/12	
	金額	比率
平均基準価額	9,993円	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

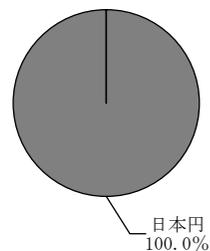
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 各配分のデータは直近の決算日現在のものです。

(注) 各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

(注) 1万口当たりの費用明細は直近の決算期のものです。その他費用のその他は、金銭信託に係る手数料です。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)をご覧ください。